

令和5年度 指定管理者 評価報告書

No.	35	評価区分	Ⅱ 観光施設、産業振興施設
施設名	上町農産物直売施設	所管課	食のまちづくり推進課
指定管理者	地場産市場ひだ合同会社	地域名	古川町

1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町上町1348番地1
設置目的	地域産業の活性化及び就業機会の確保を図る。
施設の概要	店舗施設、事務所、バックヤード

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	令和4年4月	募集の方法	公募
評価年度の属する指定期間	令和4年度 ～ 令和6年度 （ 3年間 ）		
利用料金制	無し		

3 職員の配置

配置人員	常勤	役員2名 時給職員12名
	非常勤	

4 施設利用者の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数 (人)			64,643	85,872
前年度増減比 (%)				32.8%

5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
利用者数 60,000 (人)	達成

6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	件数	件
その他の方式	手段	件数	15 件
利用者等からの意見と対応	要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	① 鮮度の低下	返金対応	
	② 虫の混入	返金対応	
	③ 賞味期限切れの商品を販売	在庫管理及び賞味期限のチェック	
市に対する意見	①		
	②		
	③		

7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
道の駅アルプ飛騨古川内の他の民間施設及び隣接施設との連携及び協働	道の駅アルプ飛騨古川内の他の民間施設及び隣接施設と連携し、合同イベントの実施や定休日を極力合わせるなど連携する姿勢がある。

8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
店長については、出荷会員並びにスタッフと良好な信頼関係を築き、仕入品を含めた農産物全体の鮮度と品質の維持に関する知識・経験等を活かし売上げに繋げているほか、店内装飾、売り場設営、SNS等を多用した店舗プロモーションについてもこれまでの知識と経験を活かした工夫をしている。	店長を中心とした店内環境づくりやスタッフ指導、魅力ある直売所に向けた様々な野菜・特産品の取扱いが少しずつ実現できており、また直売所が多くのお客様に知って頂き利用していただけるよう、SNSを活用した周知を徹底しているなど、生産者、利用者の双方に利益があるサイクルになりつつあると評価できる。

9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
1、古川国府給食センターの取扱量の拡大(飛騨産農産物)。米・大根・玉葱・葱・白菜・トマト・ジャガイモ・法蓮草の実績 2、高山公設市場の利用(飛騨産農産物)。生産者の出品農産物が少ない時に利用 3、市内の生産者及び事業者と連携し、ワークショップの開催やテーマを決めて物産展の開催等を随時開催した。	野菜の少ない冬場対策として、加工品や全国の自治体との交流からはじまった期間限定のイベント開催などに積極的に取り組み、直売所全体の魅力アップを図っている。

10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
月1回程度のスタッフ面談(個人)に加え、定期的に接遇・販売強化・野菜等の研修会を実施	店長を筆頭としたスタッフに対する指導が、利用者への良好なサービスにも繋がっており、人材育成に努めていると認められる。

11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	主な内容
収入	0	0	35,453	54,497	
指定管理料			0		
利用料金			0		
純売上高			33,804	51,308	(販売)22,455千円 (商品)28,852千円
その他			1,649	3,189	会費・ラベル等
支出	0	0	32,332	53,041	
売上原価			12,774	21,056	
人件費			8,997	16,822	スタッフ・役員
光熱水道費			1,791	2,105	
設備保全費			99	152	
修繕費			70	313	
備品消耗品			3,202	2,712	
清掃費					
その他管理費			26	371	
運営費事務費			4,368	7,576	
その他			1,005	1,934	
指定管理業務収支	0	0	3,121	1,456	
自主事業収支					
全体収支	0	0	3,121	1,456	

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
農産物・お土産・他の販売手数料/富山生協/古川国府給食センター/ふるさと納税/東京の店舗/各種イベントの実施により、収入確保の取組を実施。	年間に47回のイベントを実施しており、積極的に販路拡大への取組を行っている。

13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
PR方法について、折込等は経費がかさみ、投資対効果の観点から疑問が有るので、SNSにて行う事により、経費をかけないようにしている。	SNSによる集客を積極的に行うことで集客増につながっている。

14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		評価に対する内容
平等利用の確保(10)	b	(7)	利用者ファーストという意識に加え、それを実現するための体制整備を着実に実行しており、結果として利用客の増加に繋がっており、公益性が高い。 また道の駅内ということで、市内の方のみならず市外・県外の方にも平等にご利用頂ける施設である。
施設の効用の発揮(25)	b	(19)	利用者へのタッチポイントを増やす取組みが様々な角度で実施されており、施設を最大限に活用し利用者の増加に繋げており評価できる。
安定した管理能力(20)	b	(15)	スタッフ自ら考えて、POPを工夫するなど、適正に人材育成を行っており、店内スタッフの信頼関係も築いている。
経費の縮減(20)	c	(10)	電子決済やカード決済などに迅速に対応されている。シフトの見直しにより効率的な運用を行っており、工夫がみられた。
自主事業等及び各課で定める項目等(25)	b	(19)	店長を中心に、イベント企画や年間を通じた商品確保、お客様にご購入し易い見せ方の工夫やSNS発信などのほか、スタッフへの接客指導や明るくやりのある店舗運営に繋がるよう努めており評価できる。
総合評価	B	(70)	店舗スタッフと生産者の相互関係も良好であり、需給バランスの取れた運営がなされている。今後はECを含めた販路拡大で更なる売上を期待する。